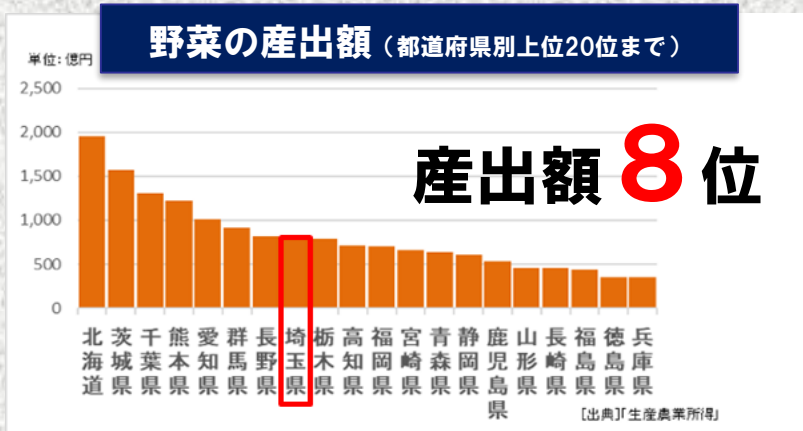


埼玉県地産地消月間

- ▶ 埼玉県は人口734万人の「消費県」で野菜の産出額が全国第8位の「農業県」であり、消費地と生産地が近いという強みがある。
- ▶ 全国上位の産出額を誇る県産農産物が11月に旬を迎える。



11月に旬を迎える主な県産農産物

 彩のきずな	1位 さといも	1位 ほうれんそう	1位 パンジー
	2位 かぶ	2位 ねぎ	2位 こまつな
	3位 ブロッコリー	3位 はくさい	4位 きゅうり

11月は埼玉県地産地消月間です！



埼玉県地産地消月間の主な取組

県産農産物を「知って」「買って」「食べて」いただく取組を県内各地で開催

埼玉フェアの開催

県内量販店が県産農産物専用コーナーを設置するなど集中PR・販売



昨年のフェアの様子

県産野菜スイーツフェアの開催

県内飲食店や小売店でさつまいもやほうれんそうなど県産野菜を使用したスイーツ販売



ほうれん草といちごのロールケーキ



宇ようかん

県産農産物メニューの展開

地産地消に賛同する飲食店・小売店等が県産農産物を使用したメニューを提供



地産地消弁当



彩の国黒豚の焼肉定食



狭山茶ばばろあ

新 県産米緊急応援キャンペーン

県やJAグループさいたまが連携して県産米の知名度向上、消費拡大を図る



新規

県産米緊急応援キャンペーン

県産米の消費を増やすため、新米が出揃うこの時期に、美味しい県産米を知ってもらい、食べていただけるようキャンペーンを展開。

米の消費量【1人当たり/年】

1962年度

118.3Kg

(茶わん約5杯/日)

2019年度

53.2Kg

(茶わん約2杯/日)

コロナ禍により更に消費量減！

2020年度
[概算値]

50.7Kg

【出典：農林水産省「食料需給表」】

🔗 彩のかがやき



🔗 彩のきずな



県産米緊急応援キャンペーン

県産米PR動画・PRソング発信

県産米の魅力を伝えるため動画・楽曲発信。
PRソングを歌うのは埼玉県在住バンド「YKJ」



県産米PRイベント開催

日時：11月27日(土) 11:00～
場所：埼玉スタジアム2002



県産米購入者プレゼントキャンペーン

Instagramを活用したキャンペーン
11月2日～12月末日



「#埼玉の美味しいお米」
を付けて投稿！

下水汚泥でクリーンなエネルギーを

流域下水道の課題

8流域・9つの水循環センターで
県行政人口の75%にあたる558万人の下水を処理
→温室効果ガスの排出が**約27万トン**（CO₂換算・年間）

この削減が
大きな課題

施設の整備

温室効果ガスの一層の削減に向け、民間事業者と共同で、
下水汚泥を減量・エネルギー化する施設「**汚泥消化・バイオガス発電システム**」を整備

中川水循環センター内（三郷市）

全国最大規模の施設が

11月1日から稼働開始！



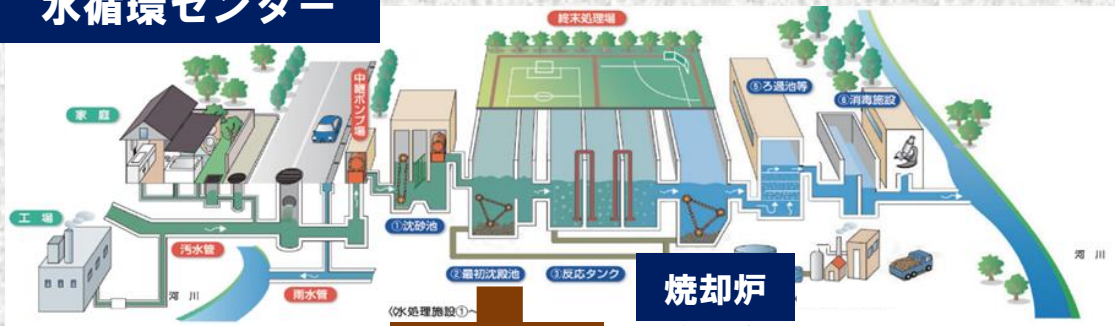
汚泥消化タンク



バイオガス発電施設

汚泥消化・バイオガス発電システム

水循環センター



整備による効果

汚泥消化タンク

汚泥の焼却量が減少することで、
温室効果ガス
12,400トン-CO₂/年削減!

バイオガス発電システム

クリーン電力を供給することで、
温室効果ガス
4,600トン-CO₂/年削減!

汚泥消化タンク



汚泥を分解
約半分に減量

施設の概要
消化タンク：9,000m³×4基

汚泥の発生

焼却炉

バイオガス発電システム
(民間事業)
東京センチュリー・月島機械 JV

減量した汚泥

バイオガス

売電

発電機

ガス売却益
約3億円/年